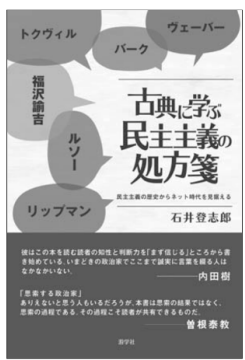


ご注文をお受けしてから出荷いたします!

見計らい  
配本は  
いたしません

古典を紐解き時代を見据え、民主主義の危機を乗り越える  
ジャンル▶政治・社会 新刊/6月中旬発売予定

游学社



内田樹(巻頭寄稿文)・曾根泰教(両氏推薦)!

# 古典に学ぶ 民主主義の 処方箋

民主主義の歴史からネット時代を見据える

混沌の時代、多様な価値観が共存し、時に激しくぶつかり合い、せめぎあう時代に、本書ではあえて腰を据えて、時を超えて受け継がれる古典に眼差しを向け、先人たちの叡智から学ぼうとしてきました。民主主義には、化学や物理のような「一つの正解」は存在しません。人間社会の根源、人間とは何かを問い続けるものです。それゆえに時代が去っても輝きが失われることなく、むしろこれだけ情報過多の時代にこそ輝きが増すのです。(あとがきより)

著者・石井登志郎

元、衆議院議員(民主党・兵庫7区)。1971年生まれ。ペンシルバニア大学大学院公共政策過程修了。帰国後日本総研研究員、参院議員鈴木寛政策担当秘書を経て衆議院議員に。父は政治家で国土庁長官や自治大臣などを歴任した石井一。

四六判並製 216P  
定価：本体 1400円+税  
ISBN 978-4-904827-39-0  
C0036 ¥1400E

彼はこの本を読む読者の知性と判断力を「まず信じる」ことから書き始めている。いまどきの政治家でここまで誠実に言葉を綴る人はなかなかいない。— 内田樹

- 主権は譲り渡され得ない、これと同じ理由によって、主権は代表されない(ルソー)
- 民主政治は国王や貴族団体より誤りを犯しやすいたとしても、一度光りが射しさえすれば、真理に立ち返る機会もまた大きい(トクヴィル)
- 政治とは、情熱と判断力の2つを駆使しながら、堅い板に力をこめてじわじわと穴をくり貫いていく作業である(ヴェーバー)
- 日本一の大金持も其の日稼ぎの労働者も参政権の前に立てば絶対平等である(高藤隆夫)

ご注文は **FAX:03-5337-0634** 游学社

ご注文申込書	書店名・帖合	ご注文数	<h2>古典に学ぶ民主主義の処方箋</h2> <p>2016年6月中旬発売 四六判/216ページ/定価：本体 1400円+税 ISBN978-4-904827-39-0 C0036</p>
--------	--------	------	--